

## 「太陽光」設置の山田 洋さん一家

震災による電力不足以降、家庭用太陽光発電への注目が高まっている。妻と2人の子どもの4人で暮らす宮崎市本郷北方の福祉施設職員山田洋さん（33）も、4月に設置。平均的4人家族の年間消費量の9割程度を発電できるという約4キロワットの設備を導入した山田さんに、設置後の変化など聞いた。

金は昨年の約5000円から2900円に減りました。一方、電力会社への売電は約2万3000円ありました。6月も電気使用量が2900円。梅雨で晴天が少なかったのに売電が1万1000円ありました。

### 梅雨時期でも売電達成 節電意識がさらに高く

—設置費用の負担が大きいのでは。

山田 設置費用は約230万円、月1万6000

円の15年払いです。5月は売電が大きく上回っており、発電量が少ない梅雨時期でもマイナスは少なく、1年間トータルで見ると利益の方が多いでしょう。

—震災以降に節電機運が高まっています。

山田 設置を決めたのは震災前でしたが、設置して良かったと思います。昼に停電になっても自立発電に切り替えて非常用の電力は確保できます。モニターに消費電力が表示され、家中の電気製品の消費量が一目で分かるようになり、以前よりも節電への意識が高くなりました。何よりも、エコを実践しているという実感が湧いてきます。

—電気料金の変化、電力会社への売電の状況は。

山田 昼間に電気を買うことはほとんどなくなり、5月の電気料

—太陽光発電を設置しようと思ったきっかけは。

山田 家はオール電化住宅で、もともと節電は心掛けていまし



山田 洋さんと妻 寿子さん



山田さん方に取り付けられた太陽光発電パネル

—震災以降に節電機運が高まっています。

山田 設置を決めたのは震災前でしたが、設置して良かったと思います。昼に停電になっても自立発電に切り替えて非常用の電力は確保できます。モニターに消費電力が表示され、家中の電気製品の消費量が一目で分かるようになり、以前よりも節電への意識が高くなりました。何よりも、エコを実践しているという実感が湧いてきます。